松田都市計画第一種市街地再開発事業の決定(松田町決定)

都市計画新松田駅北口地区第一種市街地再開発事業を次のように決定する。

	名 称		新松田駅北口地区第一種市街地再開発事業						
	面積	約 1. 2ha							
公共施設の配置及び規模	道路	種 別	名 称		幅 員	延長	備	考	
		区画道路	町道3号線		約 12m	約 140m 駅前広場 約 2,700 ㎡			
		区画道路	区画道路 1 号		約4~6 m	約 90m			
		新松田駅及び施設建築物間を連絡する歩行者専用デッキ(約3~4m)を整備する。							
建築物の整備に関する計画	街区番号	建築面積	延べ面積	建蔽率	容積率	主要	用途	備考	
	北街区	約 2, 900 ㎡	約 14,000 ㎡	約 7/10	約 25/10	商業、業務、住宅、 公益施設、駐車場 等			
	南街区	約 1,600 ㎡	約 6, 500 ㎡	約 7/10	約 23/10	商業、業績施設、駐			
建築敷地の整備に関する計画	街区番号	建築敷地面積			整備	計	画		
	北街区	約 4, 200 ㎡		駅前広場に面する街区周辺の空地は、駅前広場と一体的に整備し、市街地環境の向上に資する安全で快適な歩行者空間の確保を図る。					
	南街区	約 2, 400 ㎡							
	計	約 6,600 ㎡							
住宅建設の目標		戸 数		備考					
		約 110 戸							

[「]施行区域、公共施設の配置及び街区の配置は計画図表示のとおり」

本地区は、JR御殿場線と小田急線の開通により古くから商店街や住宅が形成されてきました。そのため、現在建物の老朽化が進行し、松田町内の中心商業地でありながら衰退しており、以前より本地区において今後の土地の高度利用や防災性について問題提起されてきました。また、周辺交通が持つ機能性と駅の利用者の多さに比べ駅前広場や幹線道路の整備が不十分であり、特に歩行者の安全性や快適性に課題を抱えた地区です。加えて、少子高齢化や若年層の町離れを起因とする人口減少等の問題解決に向け、駅周辺の商業機能の向上や地域経済の活性化も求められています。こうした本地区の現状を踏まえ、『松田町都市計画マスタープラン』の地域の将来像とまちづくり方針内の「賑わいの創出と交通利便性に資する一体的な鉄道駅前環境の整備」において、「本町の拠点として賑わいの創出と交通利便性の向上に向けて、町民のニーズや観光需要に応える商店等の配置や、鉄道駅前環境を一体的に整備することで、駅前広場やアクセス道路の整備、生活利便施設等の適切配置を進め、快適で利便性の高い鉄道駅前空間の形成を図ります。」としています。

また、『新松田駅周辺整備基本構想・基本計画』の新松田駅周辺地域基本構想の基本的構造については、まちづくりの基本的課題について「駅前広場内の施設(交通機能、環境機能、防災機能)の適正規模の再配置」のほかに計5つの課題が提示され、それについて交通拠点、まちづくり拠点、都市機能拠点などの駅前の構造形成による解決策を提示しています。

上記に基づき、安全安心な交通利便性、経済の中心地である商業機能性及び住宅機能を兼ね備えた複合市街地の形成を目標として、「駅前広場の整備」、「道路の拡幅等の公共施設の整備」、「高層住宅の整備」及び「複合商業施設の整備」を図り、計画区域内の交通安全機能、商業機能と居住機能を複合的に誘導するため、本案のとおり第一種市街地再開発事業を決定するものです。

松田都市計画図



